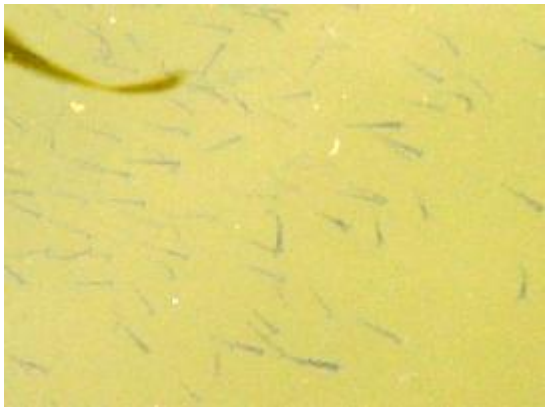
ニッポンバラタナゴの稚魚の群れ　05 月 28 日(日)

メダカの稚魚、ヨシノボリの稚魚、モツゴの稚魚、そしてニッポンバラタナゴの稚魚がどんどん誕生です。ニッポンバラタナゴの稚魚が一番群れているようです。他の稚魚はそんなに群れにならないようですね。ヨシノボリなんか稚魚のときから単独行動ですね。それぞれの性格が出てるのでしょうか。なかなかうまく撮影できません。

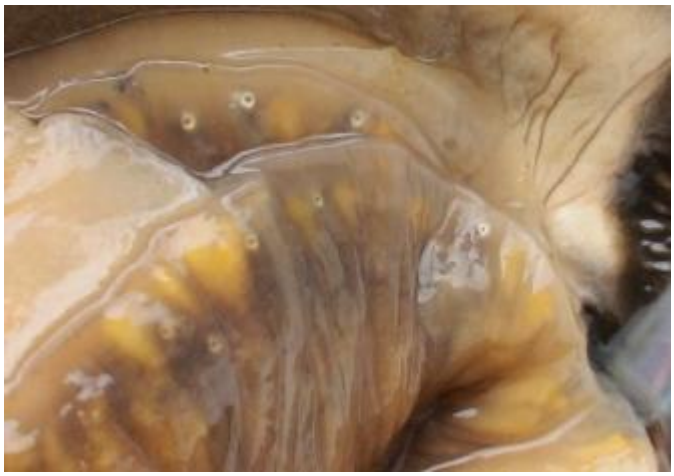


中高小学校総合学習　06 年 05 月 23 日(火)

中高小学校の5年生は、ニッポンバラタナゴの生態とその環境保全について勉強しています。今回は、ニッポンバラタナゴの産卵行動とドブガイの中での成長過程の観察を行いました。このドブガイにはニッポンバラタナゴの卵や仔魚が、100個体ほど入っていました。ドブガイの鰓から採り出したニッポンバラタナゴの卵や仔魚は3mm～6mm ぐらいで、もう眼ができている子どももいました。えらから出るとすぐに泳ぎだす個体もいたんですよ。

ドブガイ内のニッポンバラタナゴの卵・仔魚　06 年 05 月 23 日(火)

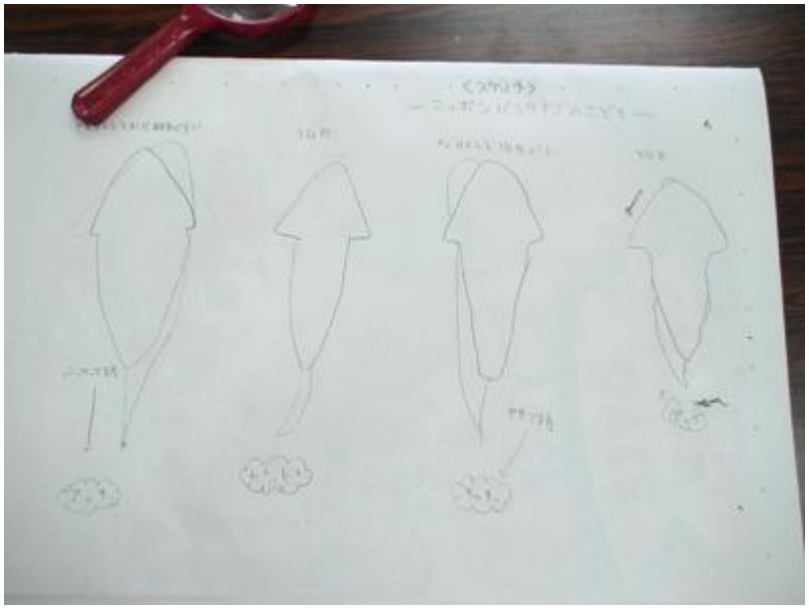
ドブガイのえらの中で成長するニッポンバラタナゴの卵・仔魚です。皆さん見えましたか。



ニッポンバラタナゴの発生過程の観察　06 年 05 月 23 日(火)

ニッポンバラタナゴの仔魚　06 年 05 月 23 日(火)

ニッポンバラタナゴの仔魚をスケッチしました。



ニッポンバラタナゴの産卵　06 年 05 月 22 日(月)

5 月定期調査　06 年 05 月 21 日(日)

5 月のニッポンバラタナゴ　06 年 05 月 21 日(日)

行動観察 06 年 05 月 21 日(日)

5 月定期調査　06 年 05 月 21 日(日)

5 月のニッポンバラタナゴの稚魚　06 年 05 月 21 日(日)

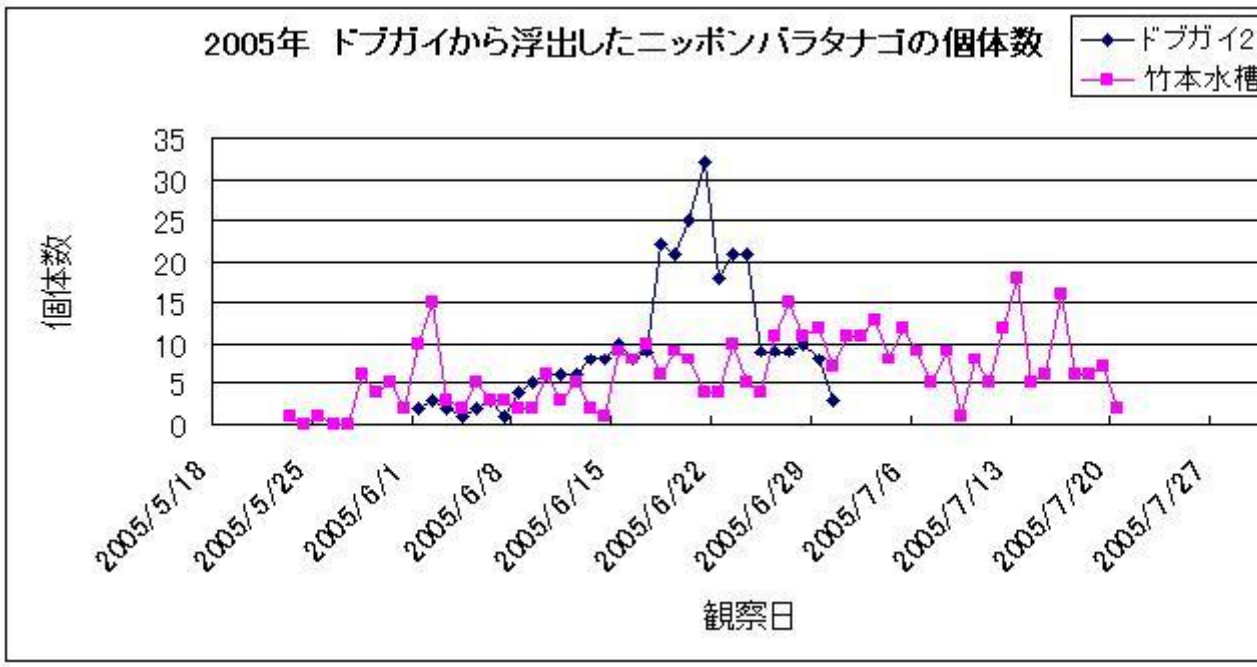
5 月のニッポンバラタナゴの稚魚です。

2005 年のニッポンバラタナゴの浮出　05 月 19 日(金)

そろそろ溜池にニッポンバラタナゴの稚魚が泳ぎだしています。

このグラフは、2005 年(昨年度)のドブガイから浮出してきたニッポンバラタナゴの個体数です。青印は、2005 年 6 月 2 日に採集したドブガイ(2 個体)から出てきたニッポンバラタナゴの個体数です。青印では、一番終わりに出てきたのが7月の 1 日ですから、ちょうど 1 ヶ月間ドブガイの中にいたことが分かります。合計数が 292 個体ですから、ドブガイ 1 個体に約 150 個体入っていたことになります。さらに、ドブガイの中で死亡する個体が 3 割ぐらいいるので平均 200 個体は産み込まれていたのでしょうね。凄いですね。

ピンクのグラフは、竹本さんの水槽でドブガイから出てきたニッポンバラタナゴの個体数です。合計 384 個体になります。竹本さんは、2004 年度には水槽で、約 700 個体を孵したのです。これはプロ級ですね。ニッポンバラタナゴの繁殖は大変難しいですよ。中高安小学校の皆さん、さあ今年は何匹出てくるでしょうね。



保護池調査　06 年 05 月 14 日(日)

ニッポンバラタナゴの稚魚　06 年 05 月 14 日(日)

保護池の看板　06 年 05 月 05 日(金)

ニッポンバラタナゴの保護と環境保全の看板ができました。
ニッポンバラタナゴは環境省のレッドデータブックで絶滅危惧ＩＡ類に指定されています。絶滅危惧ＩＡ類とは近未来に絶滅が予想される種で、高安の個体群もこのまま放置していては、こんなに美しい魚が絶滅するしかありません。
皆さん、協力よろしくお願いします。

縄張りオス　06 年 05 月 05 日(金)

縄張りオスがドブガイの周りに縄張りを形成します。
産卵管の伸びた雌をドブガイまで誘導し、雌の産卵を促す姿を水中カメラで撮影です。水温が20℃を越えるころから求愛行動は活発になってくるようです。
水温の低い午前中は小さな物音にも敏感に反応して隠れてしまうのですが、午後水温が上がると、少しぐらい音がしても物影が動いても、平気で産卵です。

産卵行動の観察　06 年 05 月 04 日(木)

午前 11 時 30 から 1 時間、産卵行動観察にチャレンジしてみました。観察範囲は保護池の東岸沿い1ｍ×6ｍで、ドブガイガ13個体（A～M）の周辺です。縄張りは6個形成され中央の貝Gと右端の貝M付近ではグループ産卵です。貝Kでは小さい個体がペア産卵です。そして、貝Hではペア産卵にスニーカー雄が3～5尾産卵後に縄張りに飛び込んで放精したのです。この1時間で、ペアのみの産卵が2回、ペアにスニーカー雄が侵入した産卵が2回、グループ産卵が2回観察されました。予想以上にグループ産卵が少ないのには少し驚いています。まだまだ産卵最盛期とは行かないようです。最盛期になると30回ぐらいの産卵が見られると思います。ニッポンバラタナゴの産卵回数はなぜこんなに多いかというと、1回の産卵行動で1～3個しか卵を産まないからです。このようなデータが簡単に取れる観察場はほとんどありません。保護池は水位の調節もできるし、水交換も簡単にできる半自然池だからです。

一度皆さん、ニッポンバラタナゴの産卵行動を自分の眼で観察してみてください。

産卵行動1　06 年 05 月 04 日(木)

産卵行動２－１･２　06 年 05 月 04 日(木)

産卵行動2卵食い 06 年 05 月 04 日(木)

花菖蒲と蒲　06 年 05 月 04 日(木)

保護池のニッポンバラタナゴ産卵 1-1・2　06 年 05 月 03 日(水)

保護池のニッポンバラタナゴ産卵 1-3　06 年 05 月 03 日(水)

保護池のニッポンバラタナゴ産卵 2-1・2　06 年 05 月 03 日(水)

保護池のニッポンバラタナゴとドブガイとヨシノボリ　06 年 04 月 30 日(日)

保護池のニッポンバラタナゴとドブガイとヨシノボリを水中ビデオカメラで撮影しました。水が少しみどりに濁っている分、どうしても鮮明な映像にはなりません。4 時間ねばってみたんですが、今日は産卵シーンが撮れませんでした。野外での撮影は難しいですよ。

保護池RE－3　06 年 04 月 25 日(火)

ニッポンバラタナゴの繁殖期になりましたよ。

一年ぶりに水中カメラを持ち出しニッポンバラタナゴの産卵行動にチャレンジしました。池いっぱいに水草が繁茂しているので、ドブガイを浅瀬へ移動して撮影開始です。

はじめのうちはメダカしか画面に現れなかったのですが、撮影開始 16 分後に、元気なニッポンバラタナゴの雌雄がドブガイの周りに集まりだしました。あーーというまに 2 匹の雌が産卵してしまったのです。ビデオからの再生写真ですからあまり鮮明ではありませんが、野外での産卵シーンです。

この連休にはすごい写真をバッチリ撮ろうと思っています。期待していてくださいね。

ニッポンバラタナゴ雄の繁殖行動　06 年 04 月 25 日(火)

ニッポンバラタナゴの産卵行動 2　06 年 04 月 25 日(火)

セットして 17 分後です。

ニッポンバラタナゴの産卵行動です。

長い産卵管がうまくドブガイの出水孔へ入ったようです。

雄がドブガイの上で 2 回放精したようです。

産卵成功です。

ニッポンバラタナゴの産卵1　06 年 04 月 25 日(火)

ドビ流しで土壌改良する田畑　06 年 04 月 23 日(日)

本年度の事業計画で、”ドビ流し”後の土壌改良が実際にどの程度できるかを実験する予定です。

この田畑は、保護池(RE-1)の”ドビ流し”で、ヘドロを取り込むことができるんです。

”ドビ流し”は 11 月ごろの予定ですが、区画分けをして、土壌分析や、実際に農作物を育てることで、その効果を調べる予定です。”ドビ流し”の効果が明確にでれば面白いですね。

ニッポンバラタナゴとドブガイ　06 年 04 月 23 日(日)

ニッポンバラタナゴの婚姻色を見てください。
これが高安産ニッポンバラタナゴ(キンタイ)の色です。
なんとも言えないバラ色のタナゴですね。
隣の写真は、16 年間ドビ流しをしていなかった溜池に生き残っていたドブガイです。16 年で殻長は 20cm を超えたものもいます。
ドブガイもここまで大きくなるんですね。

月定期調査　ドビ流し　06 年 04 月 16 日(日)

天気も回復し、気持ちのいい調査日和でした。

この春は雨の日が多く、水温も例年と比べると低い日が続いていますが、ため池の生物はみんな元気に繁殖の季節に入ったようです。ドブガイに続いてモツゴ、ヨシノボリ、そしてニッポンバラタナゴ、メダカ、もうタニシの子どもも繁殖していました。

ニッポンバラタナゴの雌の卵保有率を調べてみると、

50%もあるのには驚かされます。

昨年生まれのドブガイも、3 月ぐらいから成長し始めたようです。

昨年生まれのドブガイの中に、ニッポンバラタナゴの卵がもう入っていました。

まだ、ニッポンバラタナゴの産卵数は少ないのですが、この 2-3 日で暖かい日が続くと、一挙に産卵すると思いますよ。

今日は、調査開始前に改修工事した中樋を開いてドビ流しをしてみました。20 分間に水位が 25cm 低下し、ドブガイの採集ができる深さに調節したのです。

便利ですね。

今年の年間事業計画で、”ドビ流し”の効果を多面的に解析して行こうと思っています。当然、生態学的にも分析しますが、社会学的にもその効果を見て行こうと思っているのです。

まずは、生態調査です。

2005年生まれのドブガイ 06 年 04 月 16 日(日)

昨年生まれのドブガイの殻を見てみると、冬季の成長していない時期にできるラインから2～3mm成長しているのです。
もうこの春に成長開始しているのです。
ドブガイの殻をよく見てください。
それから、この小さいドブガイのえらを覗くと、
ニッポンバラタナゴの卵が入ってましたよ。
大体 1 つか 2 つでしたけれども、500 個体いるので、
もう 500 から 1000 個の卵が産卵されていることになりますね。

ニッポンバラタナゴの採集　06 年 04 月 16 日(日)

水質が濁り透明度が減少しているので、
堤からニッポンバラタナゴの姿を確認することができなくなってきました。無事に生きているのか、産卵しはじめているのかがよくみえません。
いました、いました、タモ網で採集してみると、よく太っているバラタナゴが元気に産卵していたようです。
雌の 50%が産卵管を伸ばし、産卵に参加していたようです。
産みたくて産みたくてしょうがないようです。
恋の季節ですね。

メダカとヨシノボリの採集　06 年 04 月 16 日(日)

4 月定期調査　06 年 04 月 16 日(日)

ドブガイの成長はじまる　04 月 13 日(木)

1 月に改修工事が終わった保護池ですが、
もう池の水は緑色に濁ってしまいました。
かなり珪藻も増えているようです。
動物プランクトンはケンミジンコが多いようですが、
ドブガイは順調に育っているようです。
そろそろドブガイの繁殖期も下火になり、
これからはどんどん成長する時期に入ります。
本当によく成長するときは、
1 日に 1mm 伸びるときもあるんですよ。
殻を見ると日輪が数えられるようになります。
いま、高安の里は山桜やもくれんが咲き乱れています。
花見をかねて、是非、定期調査に参加してください。
次回の定期調査は、4 月 16 日（日）です。
集合場所：近鉄服部川駅前　午前 9 時

ニッポンバラタナゴの産卵始まっています 06 年 04 月 9 日(日)

ニッポンバラタナゴの産卵が始まっています。
ドブガイ内のニッポンバラタナゴの産卵数を調べてみると、
7 つの黄色い卵が産みつけられていました。
縄張り雄の婚姻色も強く出てきたようです。
しかし、全体としてはこれからのようです。
ニッポンバラタナゴの産卵に関しては、
今年は例年より少し遅いようですね。

高安の山桜　06 年 04 月 03 日(月)

高安の里は山桜やモクレンが咲き始め、ウグイスもかなりうまくさえずるようになってきましたよ。すべての生きものが恋する季節になってきたようですね。
次回の定期調査は 4 月 16 日です。高安の山桜を是非見に来てくださいね。

ヨシノボリの繁殖期　06 年 04 月 03 日(月)

今日の水温は 17℃、保護池は満水。調査のために中樋を抜くとすごい勢いで排水です。1 分間に 1cmの速度で、水位がどんどん下がっていきます。あっという間に 12cm水位が下がってしまい、かわいいニッポンバラタナゴの稚魚が 1 尾だけ流されてきました。

今日は、ヨシノボリもかなりお腹が膨らんでいます。産卵期ですね。採集したニッポンバラタナゴは小さな個体ばかりだったので、まだ産卵管の伸びている個体はいなかったんですが、ドブガイの鰓を調べてみると、17 個体中 3 個体のドブガイにニッポンバラタナゴの卵が見つかったんですよ。卵の発生ぐあいから推定すると、今日産卵したばかりのような丸い黄色の卵でした。ニッポンバラタナゴも繁殖期に入ったようですね。次回の定期調査が楽しみです。